

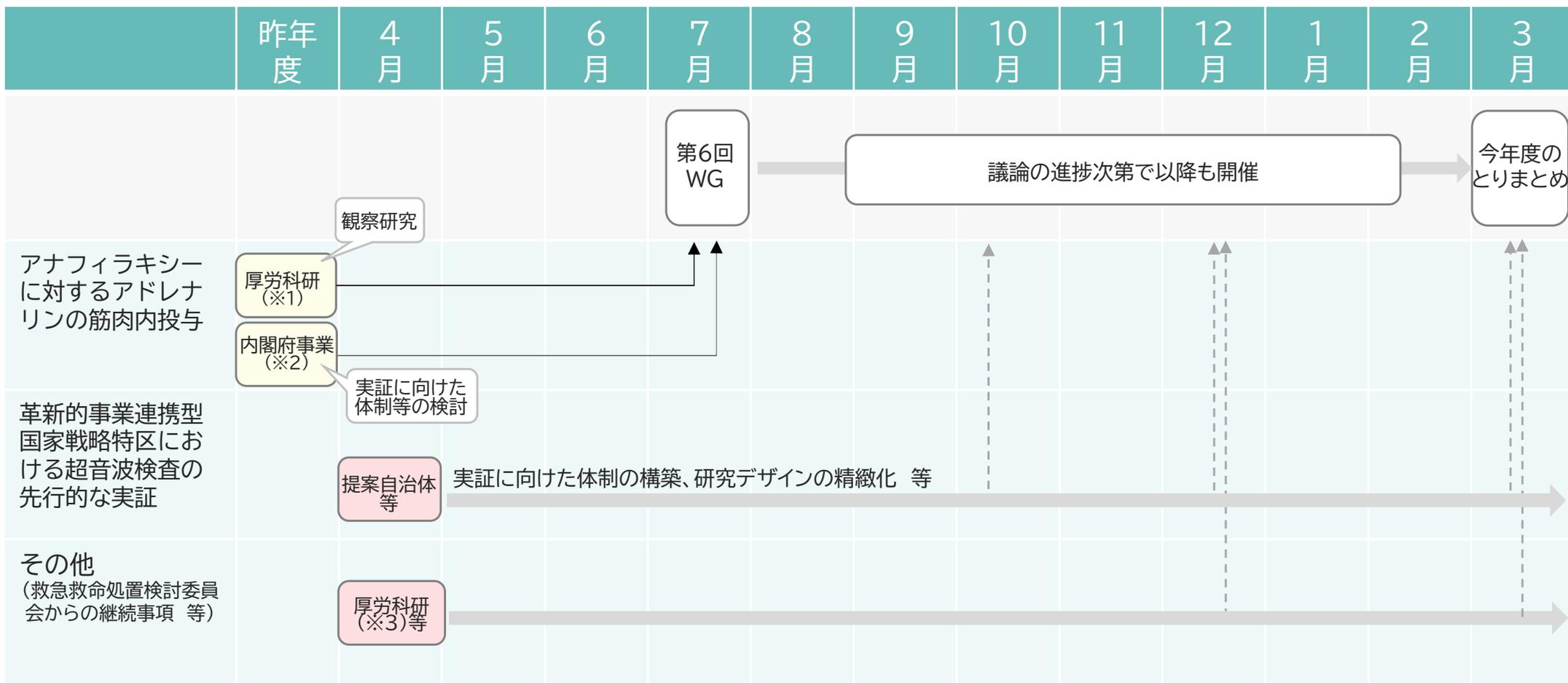
令和6年度の本WGにおける検討課題について

令和6年7月29日(月)

厚生労働省医政局地域医療計画課

令和6年度の当ワーキンググループの進め方について

今年度は、まずアナフィラキシーに対するアドレナリン(エピネフリン)の筋肉内投与について議論を進める。また、令和5年度の本WGの議論のとりまとめに基づき、超音波検査に関する提案自治体における議論・検討の進捗について議題にするとともに、救急救命処置検討委員会からの継続事項等についての検討を進める。



※1 令和3-5年度 厚生労働科学研究「救急救命士が行う業務の質の向上に資する研究」(研究代表者 坂本 哲也)
 ※2 令和5年度 内閣府地方創生事務局委託事業「特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に向けた調査・検討業務」
 ※3 令和6-8年度 厚生労働科学研究「救急救命士が行う業務の質の向上に資する研究」(研究代表者 坂本 哲也)